

amitiéってどんなサークル？

こんにちは！薬学部ダンス部amitiéです。amitié(アミティエ)とは、フランス語で友情を意味します。amitiéは薬学部の塾生のみで構成されたサークルであり、少人数ながらも毎回楽しくサークル活動を行っています。主な活動内容は、新入生歓迎会や芝共薬祭、三田祭などでのダンス公演、OBOGも参加するダンスパーティーの開催です。通常はこれらの公演に向けた練習を芝共立キャンパスの体育館で週2回行っています。昨年度まではコロナ禍の影響で対面練習や有観客の公演に制限がありました。今年度からはその制限もなくなり、先輩方から聞いていたコロナ禍以前のamitiéの活動が再開しつつあると感じています。10月の芝共薬祭では、4年ぶりに有観客でダンス公演を開催することができました。このようなイベントを経験することで、部員のダンス熱が高まりお互いの絆も深まったと感じています。これからも部員が楽しく踊ることができるサークルにしていきたいです。

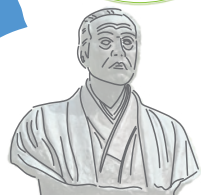
甲斐優斗君(薬学部薬学科3年)

ダンス部

amitié



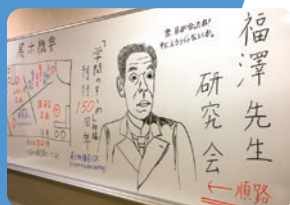
サークル NOW



『福研事情』

福研ノ職分ヲ論ス

福澤先生研究会



当会は、1918(大正7)年以来、創立107年目を迎える歴史ある団体です。コロナ禍を転機に、いよいよ活動の基本は各自の自主的行動とオンラインに移行しましたが、三田祭出展、福澤諭吉記念慶應義塾史展示館の見学会なども実施しています。未だ萌芽ですが、高等学校の福澤研究会との交流も開始しました。縦のつながりが非常に強いのも特徴の一つです。福澤は1874(明治7)年「人の説を咎む可からざるの論」において、学者は国の奴雁たれ、と言いました。餌をついばむ雁の群れの中で一羽だけ、頭を上げ周囲を警戒する個体のことです。その胸中には、塾の人間は殊にそれを意識せよ、との思いがあったであろうことは想像できますが、ならば今度、その塾中の奴雁たらんとする者が我々です。一方で福澤の主義思想を軸に持ちつつ、他方で福澤や義塾にまつわる歴史・思想・言説をときに疑い、ときに身近に伝え、それぞれの慶應義塾像を作りながら塾の気風を見つめています。

小久保真聖君(法学部政治学科3年)